

# 第3期営業報告書

自 平成 15 年 4 月 1 日

至 平成 16 年 3 月 31 日

## 1. 営業の概況

### (1) 営業の状況

当期におきましては、顧客ベースの拡大、営業の黒字化を最大の課題として下記の項目に取り組みました。顧客口座数については、なかなか成果に結びつかず微増に留まりました。預かり資産についても円高の影響もあり前期比微増となりました。営業収入については下記の項目を積極的に推進したため費用の支出が先行しましたが、1月以降にその成果が発揮され月次営業黒字が定着化してまいりました。ただ通期では残念ながら営業損失 2,908 千円、当期純損失 8,058 千円の赤字となり、黒字化に至りませんでした。

#### 顧客基盤の拡大

顧客の拡大を狙いに紙面広告、インターネット上でのバナー広告など積極的に広告を掲載しました。さらに、バーチャルトレード(商品名「FX Trading Derby」)の実施、毎月のセミナー、金融業界の著名人による大型の社外セミナー、地方セミナーを開催する等、幅広いお客様を対象に当社の認知度向上も狙いに顧客基盤の拡大に取り組みました。資料請求者数は数千件を超えているものの、なかなか当社顧客口座の増加には繋がりませんでした。

一方、個人顧客に加え法人取引による基盤の拡充にも取り組み、2月以降具体的な取引に着手しており、来期の収益に貢献できる見込みにあります。

#### 取引システム環境の向上・情報サービスの提供

取引システムにおきましては、利便性と取引レートの透明性を第一と考えプライスエンジンを開発し、ファームレートによる取引を可能といたしました。その他、見やすい・使いやすいホームページへの変更、市況メールの配信、ニューヨーク市場のビデオニュース提供など金融情報の提供も進めました。

#### 顧客資産の保全

信託勘定による完全分別保管による顧客資産の保全につきましては、信託銀行との提携により概ね完成しスタートできる状況にありますが、当社の取引コンセプトでもある「多通貨対応」及び「常時分別保管」としての機能が不十分なことから実施には至りませんでした。引き続き顧客資産の保全については、効果的なスキームの構築を目指しますが、タイミングを逸することなく対応できるよう配慮いたします。

### (2) 対処すべき課題

今後の課題と致しましては、資料請求者などの潜在的な顧客に対して、口座開設・取引の実施をしていただける当社顧客獲得へのセールス強化による顧客基盤の拡大、現在進めている企業提携取引による取引ボリュームによる収益の拡大への積極的な取り組み、レートやニュース配信の有料化など収益の多様化を進め、顧

客基盤の一層の拡大と収益基盤の確立を進めます。これにより営業収益黒字化の定着を図ります。

また、当社では既に対応しておりますが、外為証拠金取引は金融商品販売法が適用されることや将来、主務官庁等による監督機関の設置等が予見されるため、コンプライアンス面での対応を一層強化し、お客様からの「信頼」と「安心」の獲得を図る所存でございます。

当期の業績におきましては、冒頭にて申し上げました通り残念ながら黒字化には及ばず今期も配当は見送らせていただきますが、収益力向上など黒字化へ向けての体制基盤は着々と整ってきており、来期は役員及び従業員一同これまで以上に鋭意努力し一刻も早い黒字化を実現致す所存でございます。

株主の皆様には引き続きご支援、ご鞭撻の程賜りますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 2. 営業成績及び財産の状況の推移

区 分	平成13年度 第1期	平成14年度 第2期	平成15年度 第3期
営 業 収 益 ( 千 円 )	-	136,584	185,358
営 業 利 益 ( 千 円 )	3,466	29,347	2,408
経 常 利 益 ( 千 円 )	3,588	29,141	2,908
当 期 純 利 益 ( 千 円 )	3,612	29,431	8,058
一 株 当 り 当 期 純 利 益 ( 円 )	1,389	11,320	3,099
総 資 産 ( 千 円 )	128,934	1,143,462	1,171,006
純 資 産 ( 千 円 )	126,387	96,955	88,897
一 株 当 り 純 資 産 ( 円 )	48,610	37,290	34,191

(注) 1.平成15年度(第3期)より「商法施行規則」(平成14年3月29日法務省令第22号 最終改正平成15年9月22日法務省令第68号)による商法施行規則の規定に基づいて計算書類等を作成しております。このため、従来の「当期利益」及び「一株当り当期利益」は、それぞれ「当期純利益」及び「一株当り当期純利益」と表示しております。

2.営業開始は、平成14年4月1日のため、第1期は営業しておりません。

# 第 3 期 貸 借 対 照 表

セントラル短資オンライントレード株式会社  
(平成 16 年 3 月 31 日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流動資産</b>	<b>1,111,240</b>	<b>流動負債</b>	<b>1,082,109</b>
現金及び預金	236,386	顧客預り証拠金	1,078,601
預託金	268,656	未払金	1,732
短期差入証拠金	600,464	未払費用	608
前払費用	5,445	未払法人税等	290
その他流動資産	287	その他流動負債	877
<b>固定資産</b>	<b>59,766</b>		
<b>有形固定資産</b>	<b>7,743</b>	<b>負債合計</b>	<b>1,082,109</b>
建物付属設備	1,437		
器具備品	6,305	<b>資本金</b>	<b>130,000</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>44,005</b>	<b>利益剰余金</b>	<b>41,102</b>
ソフトウェア	44,005	当期末処理損失	41,102
<b>投資その他の資産</b>	<b>8,017</b>		
敷金保証金	6,317	<b>資本合計</b>	<b>88,897</b>
長期前払費用	1,699		
<b>資産合計</b>	<b>1,171,006</b>	<b>負債及び資本合計</b>	<b>1,171,006</b>

# 第 3 期 損 益 計 算 書

セントラル短資オンライントレード株式会社

自 平成 15 年 4 月 1 日

至 平成 16 年 3 月 31 日

( 単位:千円 )

		科 目	金	額
経 常 損	営業損益の部	営業収益		
		受取手数料収入	128,416	
		取引為替差益	56,599	
		その他受取手数料	342	185,358
		営業費用		
		販売費及び一般管理費	187,766	187,766
		営業損失		2,408
益 の 部	営業外損益の部	営業外収益		
		受取利息	112	
		雑収入	166	279
		営業外費用		
		支払利息	278	
		雑損失	501	780
		経常損失		2,908
特別損益の部		特別損失		
		過年度消費税修正額	4,859	4,859
税引前当期損失				7,768
法人税及び住民税				290
当期純損失				8,058
前期繰越損失				33,044
当期末処理損失				41,102